

2024年3月13日

パナソニック株式会社 2024年春季交渉※について

パナソニック株式会社は、「事業は人なり」の考え方を経営の根幹におき、人への投資については、個々人の成長を促し、会社が将来にわたり社会へのお役立ちを果たすための最重要課題と捉えています。心身ともに健康で働くことに幸せを感じられる環境、多様な価値観を尊重しチャレンジを奨励する風土などを通じて「社員のウェルビーイング向上」と「人が生きるカルチャーの醸成」を目指しています。

2024年春季交渉では、社員一人ひとりがモチベーション高く、積極果敢にチャレンジすることで、「事業の成長」と「個人の成長」を実現し、持続的な企業価値向上につなげるべく、労働組合に対し以下内容の回答をしています。

1. 賃金

開発・設計職基幹労働者 30歳の個別賃金水準について、13,000円（定昇含む賃上げ率6.96%）の改善を図る。（労働組合の要求に対して満額回答）

2. 賞与

業績連動にて算出。

3. 初任給

高校卒 188,000円、短大卒 200,000円、高専卒 220,000円、大学卒 250,000円、大学院卒 275,000円とする。

4. 下記に関する制度・仕組みについて導入し、労使で専門委員会を設置し継続して検討を進める。**①競争力ある人事制度**

・各事業が立地するそれぞれの競争環境に対応し、事業分社ごとに人事制度・仕組みの構築

②柔軟な働き方の選択肢拡大

・働く時間/場所の選択肢の柔軟な活用と制度浸透

③DEIの推進

・育児・介護目的等の休暇制度の新設や制度の拡充

④高齢者継続雇用者の処遇改善

・福祉制度の拡充と、今後の処遇水準見直しの検討

⑤若年層向け住宅制度の見直し

・今日的なワーク・ライフプランに応じた住宅施策の拡充

※注

・パナソニック株式会社では、傘下の5事業分社と直轄部門の6つの単位で、組合（パナソニック エレクトリックワークス労働組合、パナソニックアプライアンスユニオン、パナソニックエアコン・コールドチェーンユニオン）と交渉を行っております。上記は直轄部門に関する内容です。

ご参考 パナソニック株式会社組合員数 約 14,900 人

以 上